

令和7年度版 岡富小 危機管理マニュアル

危機管理において、最も大切にしなければならないこと
～ 児童の生命の安全確保、不安・動揺の防止 ～

【危機管理の「さしすせそ」】

- さ … 最悪を想定して
- し … 慎重に
- す … 素早い対応
- せ … 誠意をもって
- そ … 組織で対応する

〈迅速な報告・連絡・相談〉

延岡市立岡富小学校

危機管理マニュアルもくじ

基本編	1・2
水難事故・熱中症・大けが等の事故発生時の対応(基本形)	3
AEDを用いた心肺蘇生法の流れ	4
避難防災用具 配置図	5
地震対応フローチャート	6
令和6年度避難訓練(地震・津波)講評	7
風水害対応フローチャート	8
火災対応フローチャート	9
令和6年度火災避難訓練【反省】	10
岡富小学校不審者対応マニュアル	11・12
令和6年度不審者対応避難訓練反省	13
声かけ事案への対応	14
事件災害時の保護者への引き渡しマニュアル	15・16
朝の「欠席・遅刻」連絡への対応について	17
欠席が中・長期化した場合の対応フローチャート	18
食物アレルギーにおける除去食等の受け渡しについて	19
アレルギー症状への対応の手順	20
誤飲や体調不良を訴えた場合の対応	21
学校事故等によるマスコミへの対応について	22・23
児童虐待の早期発見と予防のために	24~26

基本編

※ 令和7年度改訂版(反省等踏まえ年々改訂していきます)

【本マニュアルの活用】

実際に事件・事故等が起こった場合も、訓練の場合も、本マニュアルをもとに行動します。普段から本マニュアルをもとに、「もし、ここから不審者が入ってきたらどうするか」「近くの廊下から出火したらどういうルートで避難させるか」…など、シミュレーションしておくことが大切です。

また、これはあくまでもマニュアルであって、この考え方をもとに実際は「臨機応変」に対応しましょう。

【緊急連絡先一覧】 令和7年度

学 校 0982-21-6497

学校用携帯 090-2580-7970

行 政 市教委学校教育課 22-7031

学校支援課 20-7205

保護者・児童 個別に連絡。全体にはマチコミメールを配信する。メール登録をしていない家庭には、直接電話連絡する。

緊 急 時 救急車119 警察署110
※緊急時は迷わず119番、110番にかける。

警察・交番 延岡警察署 22-0110

【救急車依頼について】

★電話の対応:119

- ① 「もしもし、救急車をお願いします。」
- ② 報告者名「私は・・・です。」 学校名「延岡市立岡富小学校です。」
所在地「高千穂通です。」 電話番号「21-6497です。」
- ③ 疾病者等の人数・性別・年齢・氏名
- ④ 疾病等の状況「いつ」「どこで」「どうして」「意識の有無」「身体状況」
- ⑤ 救急車到着までにしておくことは何か。
- ⑥ 学校入り口の確認と、近づいたらサイレンを止めてもらうよう依頼する。

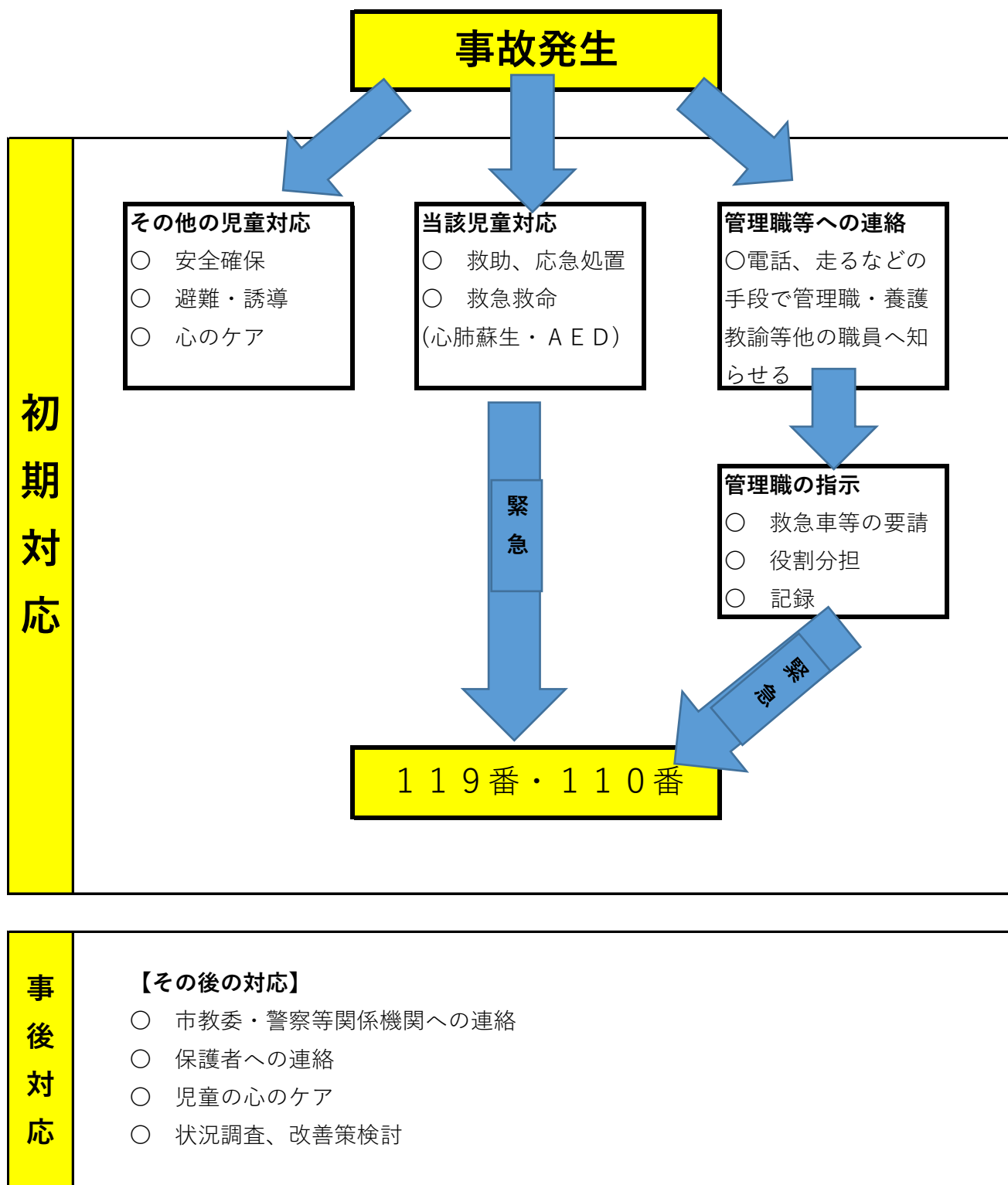
★配慮事項

- ① 負傷者・保護者に対して、校長(教頭)・関係職員は誠意を尽くすこと。
(解決するまで接触を継続する)
- ② 保護者へ速やかに「落ち着いて正確に、要領よく」報告すること。
 - * 推測・大げさな表現・正当化・弁解等を慎むこと。
 - * 当事者の家庭のみでなく、相手側にも連絡する。
 - * 原因等ははっきりしない場合でも、学校内でおきたことについては謝罪しておく。「学校内で事故・ケガをさせてしまって申し訳ございません

した。」

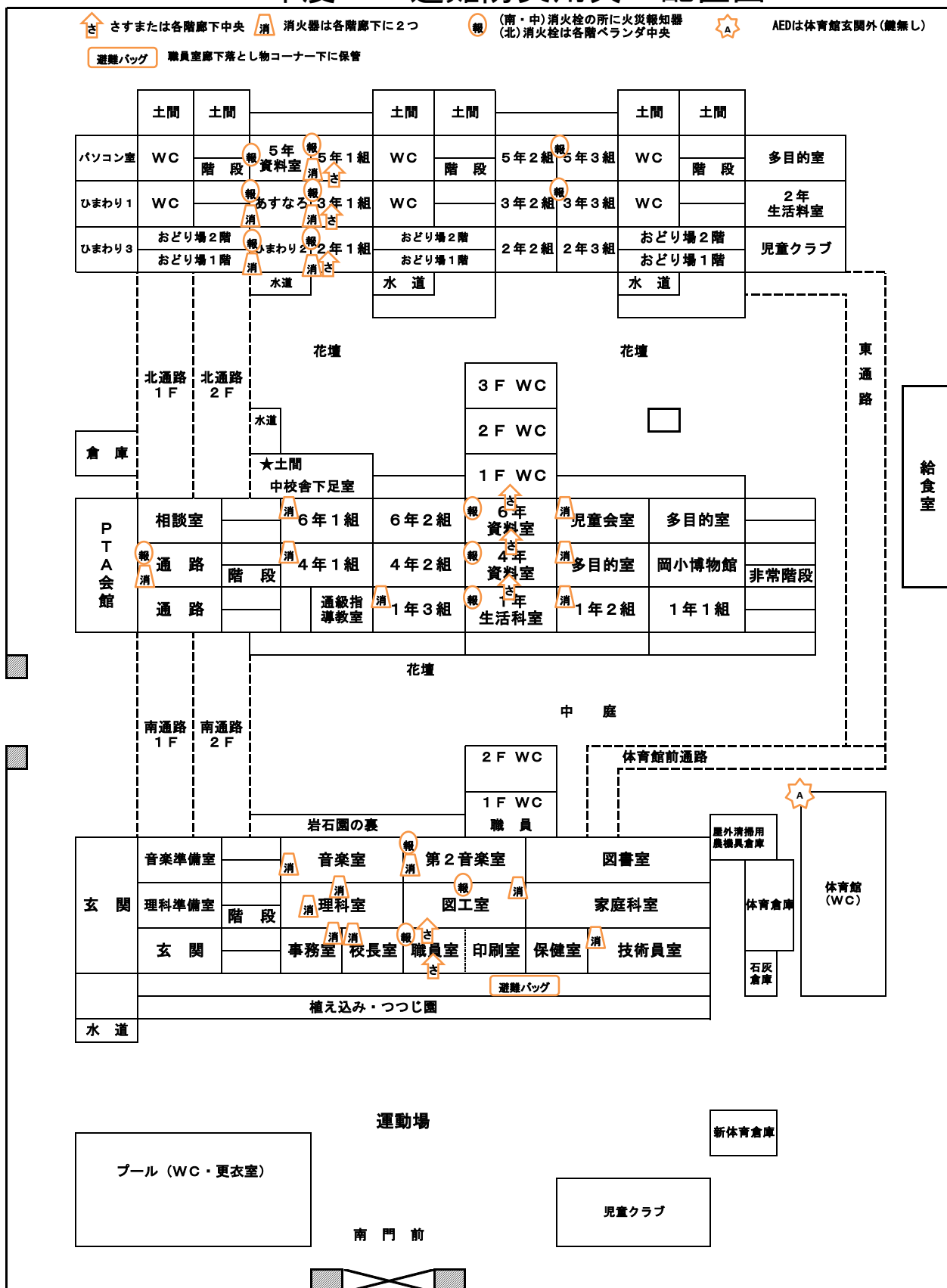
- ③ 医療機関について、保護者の意見(指示)を聞くこと。
- ④ 頭部・腹部打撲が予想される場合は、後で症状が出ることもあるので、帰宅後も追跡調査するなど留意すること。
- ⑤ 重大な事故の場合は、外部に対し窓口を一本化し、同一内容を発表すること。(報道関係・地域・PTA等)
- ⑥ 全職員の共通理解のもとに、指導・協力体制を確立すること。
- ⑦ 日時を追って、事故発生後の経緯を克明に記録すること。
- ⑧ 長期入院(治療)が予想される場合、保護者に対し日本スポーツ振興センターの共済給付制度・範囲等を説明すること。

水難事故・熱中症・大怪我等の事故発生時の対応(基本形)



<p>① 意識を確認する</p> <p>肩を叩いて呼びかける。 意識があれば観察を続ける。 意識がなければ119番通報する。</p> 	<p>⑧ AEDを傷病者の横に置く</p> <p>AEDは、通常傷病者の頭の左側に置く。</p> 
<p>② 119番通報する</p> <p>通報やAEDの手配を、周囲の人に頼むときは、人を特定する。</p> 	<p>⑨ AEDの電源を入れる</p> <p>AEDが到着したら、ただちに電源を入れる。 電極パッドを貼る直前まで、心肺蘇生法を続けて行う。</p> 
<p>③ 気道の確保</p> <p>頭部を後屈させ顎先を持ち上げる</p> 	<p>⑩ 電極パットを貼る</p> <p>傷病者の胸部を裸にし、電極パットのシールをはがし、粘着面を傷病者の胸部にしっかりと貼る。 ケーブルをAED本体の差込口に入れる。</p> 
<p>④ 呼吸の確認</p> <p>見て、聞いて、感じて呼吸は正常か10秒以内で確認する。 通常の呼吸をしていたら回復体位にする。</p> 	<p>⑪ 心電図の自動解析</p> <p>自動的に解析が始まるので、誰も傷病者に触れていないことを確認する。</p> 
<p>⑤ 人工呼吸</p> <p>通常の呼吸がなければ、2回息を吹き込む。 頭側の手で鼻をつまみ、胸が軽く膨らむ程度に息を吹き込む。</p> 	<p>⑫ 除細動（電気ショック）</p> <p>AEDが、除細動が必要と判断すると、自動的に充電が始まる。 充電が完了したら、誰も触れていないことを確認してから除細動ボタンを押す。</p> 
<p>⑥ 胸骨圧迫</p> <p>ただちに、胸骨圧迫を行う。 両手を重ねて胸骨の中央に置き100回/分の速さで30回圧迫する。 (4cm～5cm沈むように、強く)</p> 	<p>⑬ 心肺蘇生法を2分間(約5サイクル)行う。</p> <p>※AEDの指示に従い⑪～⑬を繰り返す。</p>
<p>⑦ 心肺蘇生法 (30:2)</p> <p>胸骨圧迫と人工呼吸を 30:2で行う。</p> 	

R 7 年度～ 避難防災用具 配置図



地震対応フローチャート

地震発生

安全指示

場所や状況に応じた安全指示の例

- ・教室・特別教室→「机の下に潜り、机の脚をしっかり持ちなさい。」「危険物から離れなさい。」
- ・体育館・廊下階段→「落ちてくるものに注意して、中央にしゃがみなさい。」
- ・運動場→「校舎から離れてしゃがみなさい。」

緊急状況調査

- ①児童および職員の安否確認→負傷者がある場合、速やかに救護班と連携
- ②スマートフォン等での津波予報の確認（注意報・警報、到達予想時刻・予想される津波の高さ）
- ③避難経路の状況、校舎等の崩壊状況・火災発生状況確認→必要に応じて早急に1次避難
- ④火災発生時→初期消火班と連携

判断

- 緊急状況調査をもとに、校長が判断し、決定する。
- ・避難の有無 ・避難経路 ・避難場所

避難準備

避難経路の障害物・危険物の除去

- 通電時 放送により指示
- 停電時 大声やハンドマイクにより、校舎を回って指示

引越準備

避難

- 避難時の約束「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない」の徹底
- 職員室の児童名簿が入った避難バッグを校長が持ち出す
- ※状況に応じてその場の職員が判断しなければならない場合も想定しておく。

- 1次避難場所
→運動場
- 2次避難場所
→プラウド北小路
駐車場

安否確認・不明者の搜索・救出

- 安全な所に避難後、人数確認を迅速に行い、児童・職員の安否を確認する。
- 管理職に報告後、不明者がいる場合は、複数人（2人以上）で搜索・救出に直ちにに取り組む。

保護者への引き渡し

- 地震等の災害時には、安全が確保されるまで児童を学校が保護していることを保護者に伝えておく。
- 迎えに来られない保護者は代理人等について確認しておく。

状況調査

- ①校舎の状況（危険箇所、早期再開・避難所開設準備、破損箇所の把握）
- ②児童に関わる状況（安否・心身の健康、自宅、避難先、学習用具等について）
- ③地域の状況（通学路や周辺の建築物の状況）

風水害対応フローチャート

台風・集中豪雨接近

- ① 気象情報等により、臨時休業措置等必要な措置をとる。(早退措置の場合職員の引率)
- ② 防災リテラシー確認(増水した河川等に近づかない・外出禁止・迅速な避難)
- ③ 教職員の役割の明確化(児童の指導、保護者への連絡・避難所開設の場合の職員の待機態勢・校舎内外の強風等への備え※カーテン閉め、屋外の物品の格納)
- ④ 対応について保護者・市教委・関係機関へ相談・報告・情報共有

台風・集中豪雨到達

- ① 事前に確認した対応に沿って適切に対応する。
- ② 職員、児童に関わる負傷者や二次災害状況の確認及び対応
- ③ 必要に応じて対応の再検討

台風・集中豪雨通過後

校舎の状況

- ・ 施設・設備の破損箇所・危険箇所等の確認→「立ち入り禁止」表示等の対応
- ・ 全体の被害状況の確認と職員間の共有

児童・職員に関わる状況

- ・ 本人、家族の安否や健康状態、家屋、避難先の状況確認
- ・ 学習用具等の紛失状況確認
- ・ 家庭訪問による状況の聞き取り(必要に応じて)

地域の状況

- ・ 通学路、道路の状況確認、建築物、ライフラインの状況

近隣の学校等の状況確認と情報共有

市教委・関係機関への状況報告と事後対応検討

学校再開

心のケア

- ・ 行政、専門家と連携した継続的なケアの実施(保護者に対しても)

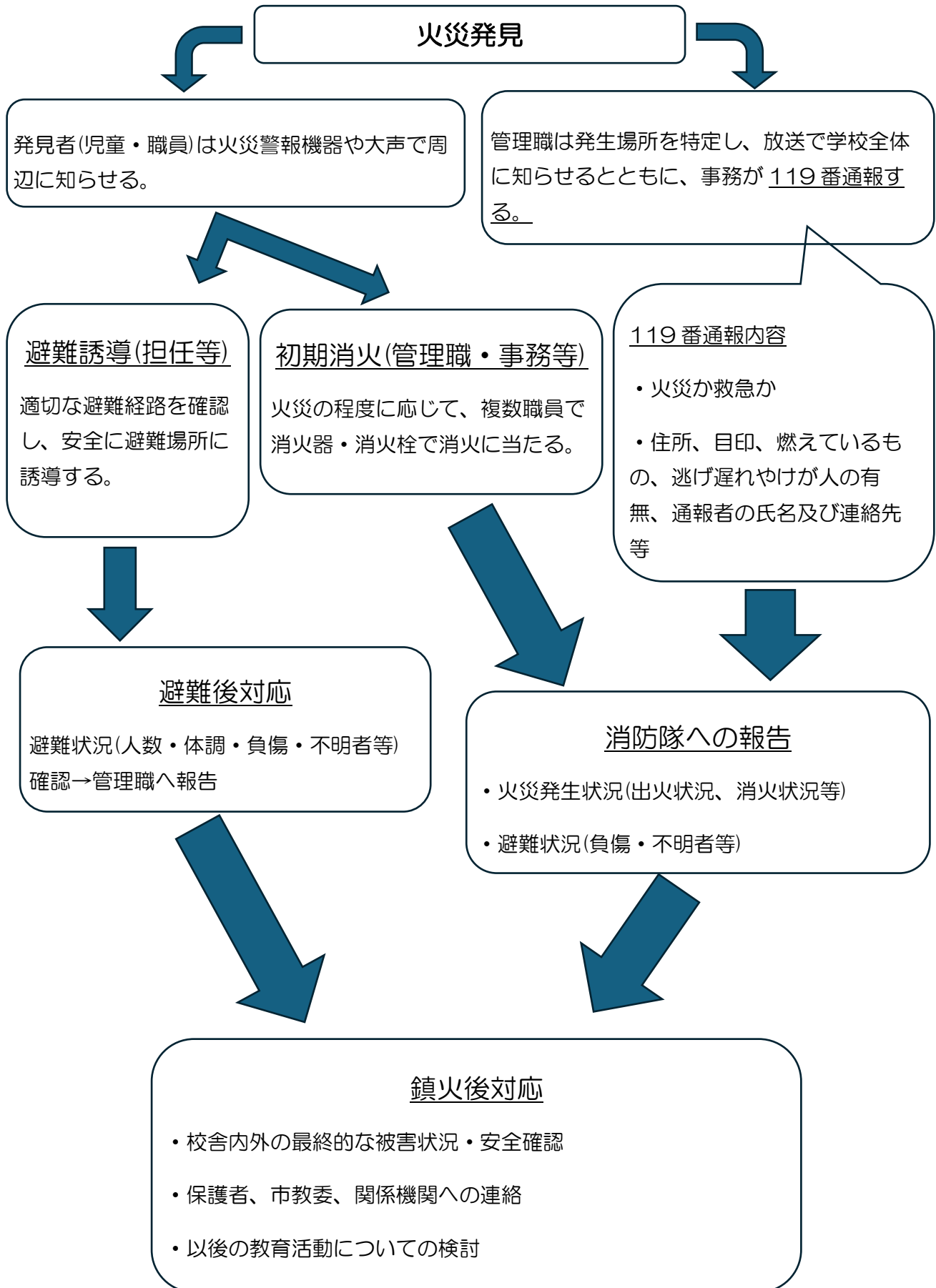
各種調査

- ・ 健康調査及び学校・地域の復旧状況

各種報告

- ・ 復旧状況、避難所の状況等

火災対応フローチャート



岡富小学校不審者対応マニュアル

不審者の侵入

- 発見した職員は、その場で声をかける。「何かご用ですか」「受付をお願いします」等

応じた場合

- 職員室に案内し対応する。

暴力的な言動をする場合

- 情報を得ているものは、場所を把握し、緊急放送および110番通報を行う。

【緊急放送1】

「〇〇(侵入場所)の高千穂先生(不審者侵入の合言葉)、お電話です。」(2回)
「児童の皆さんは教室で待機してください。」

子どもの安全確保

- 鍵の施錠
- 教室バリケードの設置
- 負傷者の確認
- 時間を稼ぐ、距離を保つ

不審者の退去 警察による確保

応じない場合

- 発見者が職員室に知らせる(笛、誰かを呼ぶ、大声を出す、電話する。火災報知器を鳴らす等)

不審者への対応

- 職員3名以上で対応(さすまた等所持)
- 移動阻止
- 暴力行為の抑止と退去の説得、誘導
- 時間を稼ぐ、距離を保つ

不審者の退去 警察による確保

- 情報を得ているものは、校内放送を行う。

【緊急放送2】

「〇〇(侵入場所)の高千穂先生(不審者侵入の合言葉)、お電話です。」(2回)
「緊急集会を行います。児童の皆さんは〇〇を通らずに運動場へ移動してください。」

- グラウンドに避難して、人員点呼および負傷者の確認を行う。
- 下校時の注意点等指導を行う。

負傷者がいる場合

- 119番通報

- 情報の整理
- 緊急事態に備え、地域の協力者(PTA、お助けハウス等)に連絡をする。
- 保護者等への説明
- 心のケア
- 教育委員会への報告

不審者対応への日頃の備え

役割分担

全体指導、外部連絡・・・管理職

避難誘導、安全確保・・・学級担任

不審者への対応・・・発見者、各学年から応援 1 名（他は児童対応）

応急手当・・・養護教諭

電話対応、記録・・・事務職員

さすまたの置き場所 **※各階の中央にあり!**

南校舎・・・各階中央(階段横)に1本ずつ計 3 本

中校舎・・・各階中央(廊下)に1本ずつ計 3 本

北校舎 1 階・・・職員室内に 1 本、廊下に 1 本計 2 本

北校舎 2 階3階・・・各階中央(廊下)に 1 本ずつ計2本

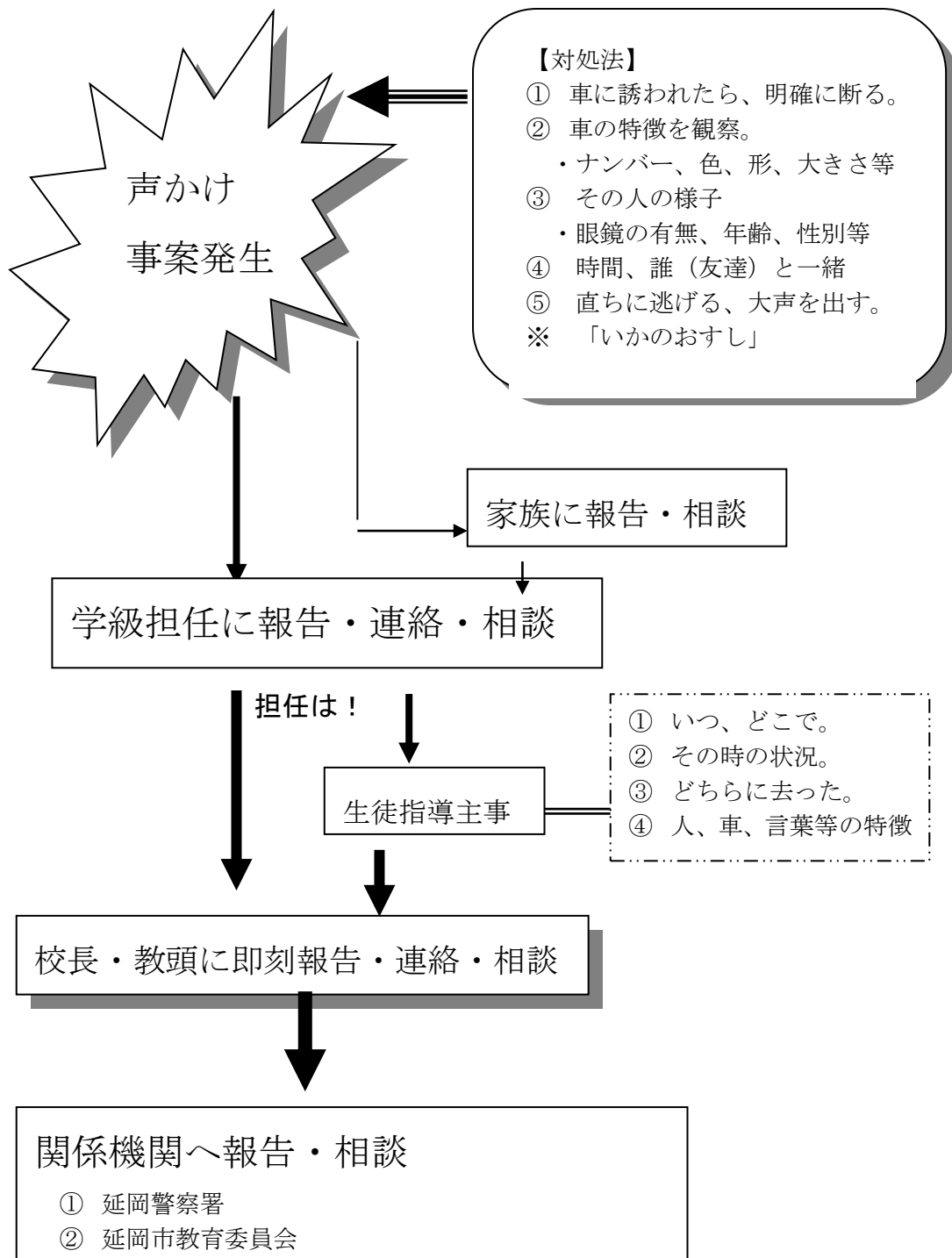
連絡手段の常備

○ 声 ○ 笛 ○ 携帯電話

声かけ事案への対応

児童への日常指導（学年に応じた表現で指導する。）

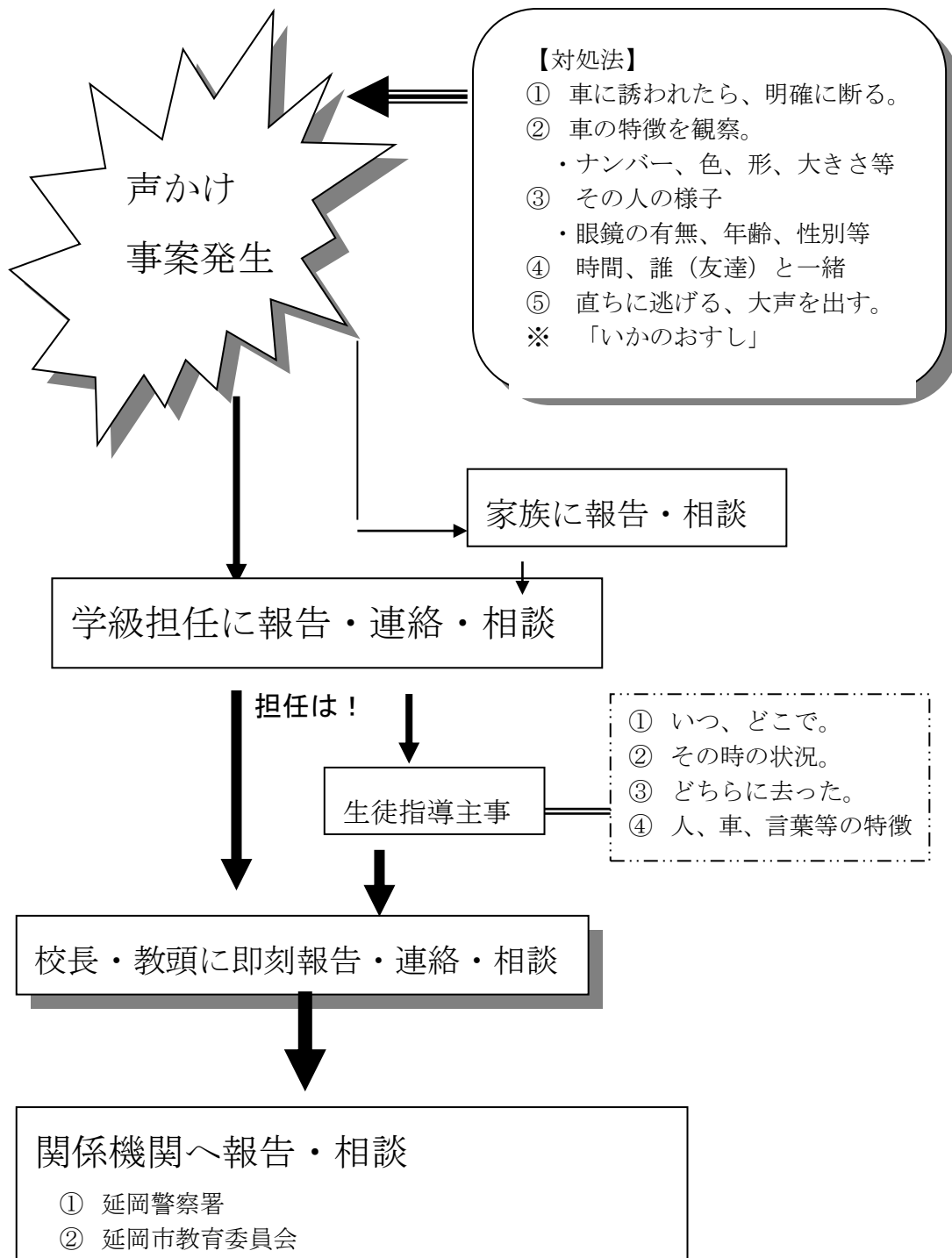
- 不審な人物を見かけたときは、すぐ家族・学校に知らせる。
- 登校・下校時や遊んでいる時、誘うような話しかけをしてきたら、はっきり断る。
- 見知らぬ人の車に絶対乗らない。
- 騒がない、慌てない。
- 危険を感じたら、すぐ逃げる。近くの人、大声で民家に助けを求める。
- どんな小さいことでも、家族・学校に連絡・報告する。



声かけ事案への対応

児童への日常指導（学年に応じた表現で指導する。）

- 不審な人物を見かけたときは、すぐ家族・学校に知らせる。
- 登校・下校時や遊んでいる時、誘うような話しかけをしてきたら、はっきり断る。
- 見知らぬ人の車に絶対乗らない。
- 騒がない、慌てない。
- 危険を感じたら、すぐ逃げる。近くの人、大声で民家に助けを求める。
- どんな小さいことでも、家族・学校に連絡・報告する。

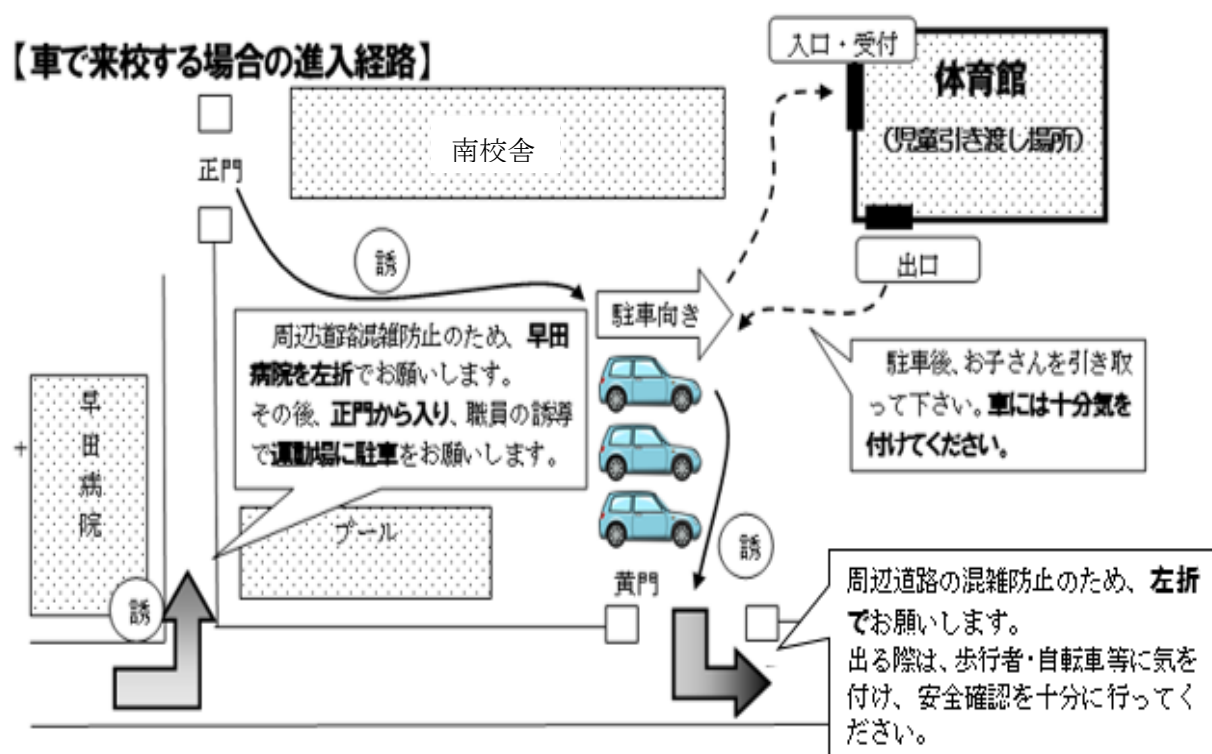


★児童引き渡し時の留意事項

1 主な役割分担

- 総指揮（状況把握、全体指揮）・・・校長 ○ メール送信、緊急放送・・・教頭
- 放送設備準備・・・放送担当 ○ 児童管理、保護者引き渡し・・・学級担任
- 保護者案内、受付・・・専科等 ○ 救 護・・・養護教諭
- 電話対応・・・事務室 ○ 運動場駐車場誘導・・・専科等、技術員

2 迎車の経路



共通理解事項

食物アレルギーにおける除去食等の受け渡しについて、岡富小学校では下記の流れで給食対応を行いたいと考えます。安全に受け渡しが行えるよう、担任の先生及び学校全体で毎日の確認をよろしくお願いします。

確認方法

- 学級担任……アレルギー用献立表、職員室ホワイトボード
(除去食等の対応日は職員室ホワイトボードへ確認サインを記入する。)
- その他職員…職員室ホワイトボード、職員室保管用アレルギー献立ファイル

毎日の給食対応については、職員室前方ホワイトボードに掲示してあります。除去食等の対応がある日は、担任の先生または代授の先生はホワイトボードへの確認サインをよろしくお願いします。また、自習・代授計画の際は給食欄に当日のアレルギー対応の有無(牛乳停止含む)と対応児童名の記入を確実にお願いします。記入したものをみて、教務主任の先生が代授計画を黒板に記入して下さい。

また、職員室前方ホワイトボード横にアレルギー用献立表を掲示していますので、詳細はそちらをご確認ください。学級担任だけでなく、他の先生方も毎日ご確認いただき、代わりにクラスへ入る際は忘れずにご確認くださいようよろしくお願いいたします。

～基本的に本人が取りに来ることを前提とします。～

① 本人が直接給食室へ取りに来る。

→給食当番と一緒に給食室へ自分で取りに来る。

「〇年〇組、〇〇〇〇〇です。給食を取りに来ました。よろしくお願いします。」

…のようにクラス、名前を述べ除去食等を受け取る。

② 給食当番は除去食等を取りに来た後に行く。

→給食当番を兼ねている時も除去食等の受け取りを最優先とする。

給食当番と一緒に給食室へ向かい、除去食等を受け取る。自分の机の上に除去食等を置いた後から給食当番活動を行う。※状況によっては、担任の先生や他の当番でフォローをお願いします。

③ 学級担任等は除去食等の確認を行う。

→学級担任及び給食指導を行う先生は、除去食等が届いているか、本人のものであるか必ず確認を行い、給食を開始する。給食室から栄養士確認、本人確認、担任等確認を経由して除去食等対応を行う。

④ 「いただきます。」をするまでは、除去食等の容器のふたを外さない。

→誤配を防ぐため、学級全体の給食準備が終わり「いただきます。」をするまでは除去食等の容器のふたを外さない。

⑤ 除去食等の対応がある日は、その児童は全てのメニューの「おかわり」はできない。

→おかわりによる誤配事故を防ぐため、除去食等の対応がある日はその児童には全てのメニューのおかわりはさせない。アレルギー児童がクラスにいる場合、毎日のアレルギー対応の確認をお願いします。

※ パンの代替食については、そのクラスのパン箱の中に名前を記載したものが袋に入っています。

誤飲や体調不良を訴えた場合の対応

- 誤飲した場合（1人分以下の場合）※要記録
 - ・ 念のため児童の状態を経過観察する。（中毒症状発症なし）
 - ・ 管理職、養護教諭へ報告する。
 - ・ 保護者へ連絡（状況説明、経過観察の報告、自宅での観察の依頼）
- 誤飲でなく体調不良を訴える場合 ※要記録
 - ・ 状況の確認。フッ化物洗口以外の対応も行う。

1. 急性中毒などが起こると考えられているフッ化物の量について

急性中毒量（症状が現れる可能性のある最小量）

急性中毒量は、体重 1kg あたり 2mg になります。1 回の洗口液 10ml に含まれるフッ化物の量は 4.5mg ですので、体重 20kg の子どもの急性中毒量は 40mg となり、おおよそフッ化物洗口液 8 人分となります。

1 人分の洗口液を飲み込んだ場合のフッ化物の量は、4.5mg になりますので、1 人分の洗口液を飲み込んだとしても急性中毒が起こることはありません。

このため、1 人分を飲み込んだ場合には、特に対応の必要はありません。

2. 急性中毒などが疑われる場合の対応について

急性中毒

胃腸症状（吐き気、腹痛、下痢）などが発現することがあり、その場合は、カルシウム剤（元気がまんの素）、あるいはカルシウムを多く含む飲み物（牛乳など）を与えて 2～3 時間学校内で経過を観察します。この際、嘔吐させる必要はありません。

※カルシウム剤（校長室保管）は、急性中毒の対応として与えるものです。

カルシウムは、フッ化物と結合して、胃からの吸収を阻害する作用があります。

<カルシウム剤の説明>

- ・ 商品名「**元気がまんの素**」1 包（2g の顆粒）
 - ・ 元気がまんの素は 1 包 2g に 248.4mg のカルシウムが含まれています。（200ml の牛乳 2.6 本分）
- ・ 元気がまんの素 1 包でのカルシウム剤の取りすぎの心配は全くありません。
- ・ 元気がまんの素の食品添加物にはアレルギー物質は含まれていません。
- ・ **そのまま服用させ、水分で飲み込ませてください。**
（水に溶けにくく、溶けると苦みを感じます）